

仙台の中学生、農家民泊

二本松と本宮 田植え、野菜収穫体験



二本松市で田植えを体験する西多賀中の生徒ら

西多賀中（仙台市）2年生104人が14日、教育旅行で二本松市東和地区を訪れ、田植えを体験した。生徒は二本松、本宮両市の農家民泊24軒に分泊して野菜収穫や触れ合いを楽しみ、思い出を胸に15日、帰校した。

東和地域グリーンツーリズム推進協議会が受け入れた。二本松の農家民泊18軒挙げての規模は3年ぶりで、本宮地域（6軒）との連携は初めて。同校の民泊は5年ぶりで、本県は初めてという。

初日は戸沢住民センターで入村式を行い、同協議会の熊谷耕一会長と三保恵一市長が「二本松の魅力を感じてほしい」と歓迎の言葉を述べた。生徒はクラスごとにバスで4地域の水田へ向かい、はだして田植えに挑んだ。初めての水田の感触に戸惑う生徒が多かったが、整然としたコシヒカリの苗列ができると笑顔を見せた。

同協議会は「農家民泊の良さを中学生だけでなく広くアピールしていきたい」と話した。

▲ 5月19日 福島民友新聞掲載

5W1Hを読み解こう

記事を読んだ感想や意見を書いてみよう。（330字程度）

いつ
(When)

どこで
(Where)

だれが
(Who)

なにを
(What)

どのように
どうやって
(How)

活動はどのように？

なぜ
どうして
(Why)

民泊では、どんなことを知ったり、
どんな思い出を作ったのかな？



「ジュニア窓」にとうこうしよう

福島民友投稿のページ「窓」に送る